リジェンス講座「GCI2025Sum G C I の修了式が9月21日、 修了生には大学生や院生のほか、

2 5 S

m

e

r

共同研究プロジェクト参ミュニティに参加でき、

経て約4%にあたる14 提出数は約20%の217 579人。 うち最終課題 merの受講者数は1万 GC12025Sum 人が修了証を得た。

題については成果があっ た受講生のみに修了証を 考えられる。 約3割が不合格となっ 出している。 トアップの標準レベルと その結果

る。 加のチャンスが拡大す また、修了生から優

都大学工学部物理工学科優秀生に選出された京 秀生に選出された15人は -などでの

子系学類の坂上真寛さん 阪府立大学工学域電気電 同様に優秀生である大 情報学を体系的に学

とコメント

析と提案が矛盾なくつな

デー

、教師あり学習、データの前処理、

予可

■協力企業を募集中

大学

院生、社

人など1495

がるように質を磨いた」

野が広がった。今後は次いたより難しかったが視 Sで本講座を知った母親の1年生と愛媛大学附属の1年生と愛媛大学附属す。早稲田実業高等学校 うだ。高校生は「思ってからの紹介で受講したそ

び、最終課題は企業りて測モデルなどを15回で学 を中心に取り扱う。 ーケティングデータを分 して戦略的提案を行う に取り扱う。GCIは表や数値など

料。これは協力企業の支もと、本講座の受講は無 であるべきという考えの 援により実現して

教育は可能な限り無償 ろ、自分の子供に 成AI活用に自身は慎勧める保護者もおり、 を中心に広がってきた。

講座の受講者は口コミ 自分の子供に受講を 松尾豊教授

現状存在する生成AI 現状存在する生成AI 技術が社会実装されるだけでビジネス現場は大きけでビジネス現場は大きな質がでとがでいる。
松尾研発スタートアップ
松尾研発スタートアップ
小連携も増えた。今後は
この流れをさらに拡大し

ほんものの学びに 夢中になる 関わりあい高めあう授業づくり-L. ポロソフ 著

山元隆春, 竜田 徹, 吉田新一郎 訳 A5判·256頁·定価3080円 学習内容,自分たちの学習課題, 学びあう仲間や教師との間に,豊

は夢中になって学び出す。 非認知能力の発達

かな関係性が築かれる時,子ども

―生涯にわたる変化と影響― 小塩真司 編著

A5判·336頁·定価2970円

様々な人間関係やライフイベント 心理特性相互の関連性の影響のも と,人生全体にわたり変化するも のとして非認知能力を捉える。 ━北大路書房■

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8 TEL 075-431-0361 FAX 075-431-9393 https://www.kitaohji.com 〈価格税込〉

法人様専用営業サポート

ログラムである東京大学グロー 早期育成と社会実装を目指す公開講座などを幅 囚い層に無料で提供している。 東京大学松尾・岩澤研究室では、 -バル消費インテ ル消費インテ A I

、東京大学構内で開催1202555 umme

A

たい」と祝辞を述べた。テージへの挑戦を期待し 究の参加などの新たなス もって学び続け、 了生であることに自信を の場も提供しており、修 ■優秀生15人を選出

※材の早期育成・社会実装に貢献 の徳永凛太郎さんは「大 口だったが、最終課題で でいる際にGCIを知っ 学でPythonを学ん は自分がクライアントに 機械学習の知識はゼ

なったつもりでデータ分

honが役立った」と報の時間で学んだPv されて興味をもった。 理の時間にGCI 高等学校の1年生は 学生もいる。 高校生や中学生も■修了生には 修了生には高校生や中 かえつ有明 を紹介 と話 情 ackでやりとりしたり しながら進めた」

生成AIに聞いたりS-

画像や自然言語などを扱

トではデー

タ利活用に

協力企業であるリクル

||学習後の講座として、

中学生は「難しい内容は

一方

学校校長42・5%は、

細版は今後公表予定

\$2024

月に開講するAI入門講 N E X T GCIから GCIは毎年4月と10 G C I

ィでの伴走支援も行って り、事前学習動画や補足 は来春) アリング講座(次回 も用意してお コミュニテ

ng講座、AIエンジ 了 証 しており、 毎年、 チュア・コンビニエンス ンティストも募集。カルしており、データサイエ コミットした事業を展開 る が本講座を受講してい イント事業などを展開 クラブCIOではVポ

加速するプログラムに AIの社会実装を

であっても、自分の子供には正しく理解して活用してほしいという気持ちをもっているようだ。生をもっていることの技術が今後、重要であると理解していることの表れではないか。GCI修了後、共同研究でのOJTや、起票支援などの選択肢も提業支援などの選択肢も提業支援などの選択をも提供し、ギフテッドへの教験会の一つにもなると 考えている。

中央教育審議会教育課程企画特別部会は9月25 日、次期学習指導要領及 日、次期学習指導要領及 付た柔軟な教育課程、情 けた柔軟な教育課程、情 けた柔軟な教育課程、情 各教科 o教科WG= 次期学習指導

上、余白の創出を通じた 教育の質の向上ほかにつ かりやすくするために各 かりやすくするために各 から。これに伴い、教科ご いる。これに伴い、教科ご 検討領

に向かう力、人間性等」とい整理を踏まえた各教の目標の見直しとデジーの外でである。人間性等」とのがいる。 や「見方・考え方」の新に向かう力、人間性等」でいる。いずれも「学びのから力、人間がありが始ま 柔軟な教育課程を前提と報活用能力の育成強化、 して議論が進行中だ。





製品動画は

こちらを





エレコム株式会社 www.elecom.co.jp

AIの使用についての考え方

64.8% 67.0% 61.8% 59.7% 児童/生徒が他人 授業計画の作成改 72.1% 59.1% の成果物を自分の 善に役立つ ものと偽る 71.9% 68.2% 62.0% 教科書教材を児童 AIは不適切又は正 61.5% 61.1% /生徒の能力に合わせて調整できる しくないかもしれな 55.7% 66.5% い提案をする 66.4% 48.4% 71.1% 40.4% 個別サポートを 支援 51.0% 66.5% 偏った見方の増大 42.5% 72.2% 55.2% 特定の支援が必要 59.6% 46.1% 54.5% データセキュリテ な児童/生徒を 69.4% 52,2% 43.9% 40.2% 79.1% 55.0% 不適切な指導法の 30.8% 事務的業務の 73.1% 41.6% 自動化に役立つ 25.3% 44.9% 日本(小学校) 日本(中学校) 参加国平均(小学校) OECD平均(中学校)

「教員の不足感」が増加

が、国際平均より低かっの項目において増加した 生徒に促す実践の割合は る質問・意見を他の児童 探究的な学習に進捗■主体的・対話的な学び 合いに出す割合など多く 常生活等での問題を引き 過去の学習内容の関連を を上回っている。 説明する実践の割合、 を提示する割合や現在と に考える必要がある課題 中学校ともに国際平均 児童生徒の意見に対す 批判的 日

り低い。一 のの 中学校45・9%)、 %)には届いていない 平均(67・5%/70・1 中とも約10浮増加したも う回答は前回調査より CTを活用しているとい 授業等におけるAT 17%程度と国際平均 (小学校48・0%、 36·3%) よ 小中ともに

20湾増えている。ここ数前回調査と比較して10~ ズが高い。 答。 になったことがわかる。 年で教員不足が一層深刻 「支援職員が不足」 小学校校長52・7%、 特に小学校でのニー

中学校校長は35・6%。 小学校校長は40・7%、教員不足を感じている 小学校校長66・3 特中 トまとめ」

■教育資源に不足感 傾向だ。【文部科学省 時間は国際平均より短 /国立教育政策研究所

⑩ルーブリックからドリカムシ

ドリカムシートを活用した学びの様子

AVER STANCE

ドリカムシート

業準備、 本の教員のストレスは、 小中学校ともに増加して

20浮改善されている。

前回調査比で約

教員が授業で「

割以上であった。なお保 対するストレスを感じて 護者対応や授業にかける いる教員は小中ともに6 特に事務的業務に かつ国際平均より

多すぎる授業数

保護者対応についての日 や採点業務、事務的業務、 前回調査と比較して授

早くから取り組んでいの学習材の作成と活用に

の結果は、

学期ごとのふ

11月4日

公開研

申込は

クラウド上で

ルーブリック」

等

「ふり返りシー

ができる。

|ストレスは増

GIGA第2期の個別最適な学び

均(1・7時間)よりも明

時間減じているが国際平

回調査よりも約2

■ICT環境は進捗

らかに長時間であった。

適切と回答した校長は小

う傾向だ。

CT機器の不足・不

活用が進んでいないとい もあるが懸念も大きく

> りも微増している。 いものの前回調査よ

(鈴木清照校長)では、 子供たちの学びにつながる で、深い学びにつながる で、深い学びにでながる で、深い学びに呼走し である。特に、子供 たちの学びを見取る評価

共有・可視化でき、授業リック」はクラウド上でいる。例えば、「ルーブ

さらに、デジタル学習 を活かした新たな学 をで、児童が生成AIを をでいた学びにも挑戦す

•3•

(E00E)

TYPING LAND LILL KEY PALETTO 64

環境等を有効に活用して GIGA端末やクラウド デジタル学習基盤である 動を向上させるために、

の終了時には、

クラウド

の公開研で参観すること

あル

ーブリックをもと

っている。AI活用につの懸念も国際平均を上回

いて日本の教員は、期待

指導法の提案」について

お自分の成果に満足して いる教員は国際平均より いて9割程度の水準。 かつ各項目にお 国際平均よ

~久喜市立砂原小のデジタル学習材

久喜市·

立砂原小学校

作成している。 児童用のル

チャートで表すものでありカムシートは、自分のしているようにレーダーとであるようにレーダーのであるようにレーダーのであるようにレーダーのであるようにレーダーのである。

ーブリックを

教師の見取りと評価活

間)よりも長い。また、授4時間、中学校41・0時

24・2%と国際平均

61 2 %

ティの危険」

「不適切な

年)より約4時間減少。

にしていると回答した教 批判的思考を促す」よう

際平均をいずれも大きく 感は極めて高く、かつ国

上回っている。

方で「偏った見方の

「データセキュリ

前回調査(20

かし国際平均(小学校40・

勤務時間は小学校52

際平均よりは低い。

日本の教員の週当たり

せて発問する、

児童生徒の実態に合わ

79・1%、中学動化に役立つ」

中学校73・1

トを支

について「事務業務の自

工夫する教員の割合は小

しかし国

中学校66・5%)と期待援する」(小学校71・1%、

業準備時間や事務業務も

国際平均より長い 減少傾向だが、

中学

マハ。中学いずれも

離がある。

校の課外活動は5・6時

教える

り高く、 中学校とも、 ことの面白さややりが に満足している割合が

主体的・対話的で深いは、デジタル学習基盤には、デジタル学習基盤には、デジタル学習基盤には、デジタル学習基盤には、デジタル学習基盤には、デジタル学習基盤には、デジタル学習基盤には、

教 育 学 部中村学園大学

山

本朋弘

教授

容で記述して、教師用とい資質能力を具体的な内る。学校全体で育成した

活用される。

。このド

が不足」と感じている。 別支援教育が可能な教員 ■教職の充実度

(小学校

0

2025年(令和7年)

10月20日

月曜日

第2276号

神無月・時雨月

デジタルの日 (10/5・6)

探究の日(10/9)

教育家庭新聞社

紙氏

面

面

計の日(10/18)

教育マルチメディア

https://www.kknews.co.jp/

柔軟な教育課程

余自」を創出する

未来を創造する次世代の学び

森田教育長に本大会の見所を聞いた

前授業で保護者を巻き込む

第51回全日本教育工学研究協議会 全国大会

茨城つくば大会が11月14·15日に開催。JAE T会長である高橋純教授と実行委員長である

デジタル学習基盤を学びに生かす

▼デジタル教科書(国語)で論説文の展開を

全員理解 ▼国語に特化したデジタル教材で

学びの自走を支援 ▼情報モラルに関する出

教育委員会対象セミナー・鹿児島報告

▼学校図書館を支援する「AI学校司書」とは

▼教員が使いやすいデジタルドリルとは

創刊 昭和36年7月 ©教育家庭新聞社

TI

第3月曜日発行

1部 520円

図

発行所=〒111-0053東京都台東区浅草橋3-1-8 TEL:03 (3864) 8241代

FAX:03 (3864) 8245 郵便振替口座 1309-53693

☎03 (3864) 8241 Eメール kks@kknews.co.jp

案

文部科学省は10月7日、

ECD国際教員指導環境調査(TAL

1S)2024

依然として世界最長■教員の勤務時間は

(TALIS) 20240

い学びに関して成果が見られる一方で、教員不足を感じる学校長が明らかに増えている。本調査教員・校長を対象に全国約400校から約7000人が回答。働き方改革や主体的・対話的で深結果を公表した。日本は第2回調査(2013年)から参加しており、今回は小学校・中学校の

72回調査(2013年)から参加しており、OECDが実施する国際教員指導環境調査(

教員の働き方改革や教育環境整備の政策検討に活用される見込み。なおTAL

の次回調査は2030年に予定。

結果は今後、

▼「自分の好きを語る」特別授業 ウェルビーイングに資する環境へ ▼学校ニーズや気候変動に対応する制服のリ ニューアルを提案

学校図書館

▼セルフケアをテーマにした出前授業 食育・学校給食

▼地場産物を給食に活用するためのガイドブ ック ▼学校給食の安定運営に向け文科省が通知

教育ニュース 面

■ X (I⊟ Twitter) @kyoikukatei

■紙面問合せ ⊠kks@kknews.co.jp

■購読申込みはこちら→



「教育家庭新聞 教育マルチメディア」購読申し込み書

「教育家庭新聞 教育マルチメディア」は毎月第3週に発行します。メール便で お届けします。電話・FAX、またはHPからもお申し込みいただけます。 購読者には、新聞紙に加えて、読者専用Web ページにアクセスできるID とパ

1.電話 03·3864·8241 (弊社販売部) 2.FAX 03·3864·8245

3. ホームページアドレス https://www.kknews.co.jp/ お申し込み書(年間12回6,240円) お名前 ご職業 〔自宅・通勤先〕 (どちらかに○を) お支払方法 連絡先 電話 ご連絡を頂き次第、郵便振苔及び 銀行振込の用紙をお送りします。 FAX どちらかでお支払いください。

子どもたちの学びを促進する耐久性に優れ、使って楽しいキーボード ELECOM

> iPadケース一体型のキーボード パレットフォリオ

ALETTO

細はKKSWEBへ)



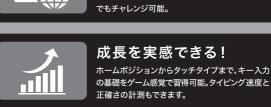


受付時間 9:00~18:00

TEL.0120-975-579 月~金(祝·祭日、夏季、年末年始特定休業日を除く)







ブラウザで使える!



KEY PALETTO汎用シールでも使いやすい!

タイピングスキル向上を楽しく支援!